

多様な主体との共働による アール・ブリュット 魅力発信事業

全体概要 第4版 2014年2月27日 発表

(平成 25 年度 文化庁 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業)

アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA (設置者：社会福祉法人滋賀県社会福祉事業団)

滋賀県

近江八幡市

一般社団法人 近江八幡観光物産協会

NPO法人 はれたりくもったり

アール・ブリュットネットワーク

滋賀県施設合同企画展実行委員会

公式ホームページ

<http://www.no-ma.jp/>

本事業に関するお問合せ (広報窓口)

アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会事務局 (滋賀県社会福祉事業団 企画事業部)

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

電話：0748-46-8100 (担当：川那辺、平日10：00～17：00) メール：kikaku@sisyazi.jp

この資料は、2014年2月27日 現在での最新情報を掲載しております。情報は随時更新される可能性がありますので、詳しくはお問合せください。なお今後この「全体概要」は随時最新版を発行するほか、別途同時に、本事業の最新リリースや注目ポイントなどをピックアップした「ニュースレター」をご提供します。

この資料は、こちらの URL に PDF ファイル形式で公開しております。 <http://www.no-ma.jp/filearchives.html>

「多様な主体との共働による アール・ブリュット魅力発信事業」 全体概要 目次

事業目的		2
事業実施の背景	世界で注目される日本のアール・ブリュット	3
	アール・ブリュットが拓く3つの未来	4
	ボーダレス・アートミュージアムNO-MA	5
事業アウトライン		10
事業詳細	事業1. 県内の各所で展覧会を開催	11
	・アール・ブリュットゾーン パルコ	11
	・アール・ブリュットランドスケープ	14
	・アール・ブリュット☆アート☆日本	17
	事業2. 公開研究会の開催	24
	事業3. 情報発信及び記録・調査、アーカイブ	27
その他関連書籍・イベントなどの紹介		28

事業目的

アール・ブリュットの魅力を国内外に発信することを目的とし、ボーダレス・アートミュージアムNO-MAを拠点に、近江八幡市の町屋など文化資源を活用した<日本のアール・ブリュット展>を実施します。その他、大津パルコやアメニティフォーラムでの展覧会等、多様な主体と共働しながら「アール・ブリュットの魅力」を発信する事業を展開します。

- ・文化庁「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」の採択を受け実施します。
- ・多様な主体の参画のもと「アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会」を新たに組織し、本事業を実施します。

【実行委員会構成団体】

- ・ボーダレス・アートミュージアムNO-MA（設置者：社会福祉法人滋賀県社会福祉事業団）
 - ・滋賀県
 - ・近江八幡市
 - ・一般社団法人 近江八幡観光物産協会
 - ・NPO法人 はれたりくもったり
 - ・アール・ブリュットネットワーク
 - ・滋賀県施設合同企画展実行委員会
- ・滋賀県社会福祉事業団では、この事業で展開される3つの展覧会を「糸賀一雄生誕100年記念事業」協賛事業として実施しています。

世界で注目される日本のアール・ブリュット

■ アール・ブリュットとは？

アール・ブリュット (Art Brut) とは、フランスのジャン・デュビュッフェ (Jean Dubuffet 1901-1985) という芸術家が考案した言葉です。日本語に訳される場合には一般的に「生の芸術」とされ、「美術の専門的な教育を受けていない人が、伝統や流行などに左右されずに自身の内側から湧きあがる衝動のまま表現した芸術」と解釈されています。

近年、スイスやフランス、イギリスなど欧州を中心に、日本のアール・ブリュットを取り上げる展覧会が数多く開催されています。2013年6月までロンドンで開催された「SOUZOU (ソウゾウ)」展は1週間に9,000人を超える来場者数を記録し、多数のメディアに取り上げられるなど、予想以上の注目を集めました。国内でも公立美術館等で、アール・ブリュット展が開催されています。

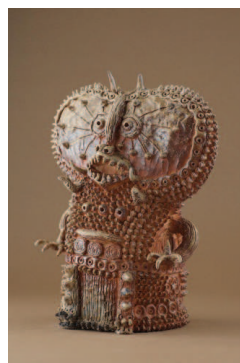
「美術の五輪」と評される「第55回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展」に、日本のアール・ブリュット作家の澤田真一さん（滋賀県出身）の作品が展覧されました。このように、日本のアール・ブリュットは、世界で大きな注目を集めています。



小幡正雄



鮎万里絵



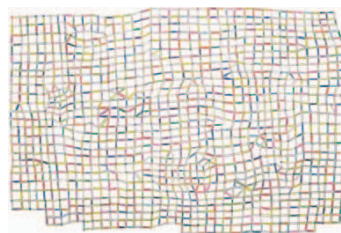
澤田真一



古久保憲満



戸来貴規



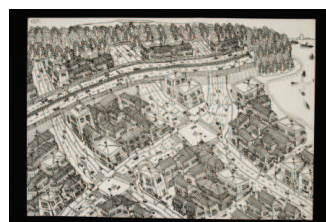
松本寛庸



舛次崇



伊藤喜彦



辻勇二



石原峯明

アール・ブリュットが拓く3つの未来

■ アール・ブリュットは、障害を「個性」に変えます。

障害のある人たちと作品を通じて出会うことは、障害をマイナスとだけ捉える固定観念から抜け出す一助となります。そのことは、障害のある人たちをすぐさま「支援すべき対象」としてのみ捉える考え方を一新させ、健常者が障害のある人たちから様々な創造性を学ぶ機会にもつながるでしょう。

■ アール・ブリュットは、日本の福祉文化を世界に発信します。

海外で高い評価を得ている日本のアール・ブリュットですが、ここに至る背景には日本が育んできた福祉文化があります。障害のある人の作品を尊重してきた温かい眼差しが、彼らの社会参加を促してきました。

作品の魅力発信や作者の権利擁護等、アール・ブリュットの振興に向けたこれまでの実践には、福祉関係者のみならず、美術関係者、法律関係者等様々な分野の方々が参画してきました。このように領域横断型の取り組みの中で培われてきた日本の福祉文化が、やがて世界に発信されることでしょう。

■ アール・ブリュットは、「共助」の発想を育みます。

大きな美術館はもちろんのこと、地域に根差した小さな美術館や公民館、ギャラリーやカフェ等作品が地域の人たちの目に触れることで、障害のある人の生活を地域住民によってゆるやかに支える「共助」の精神が育ち、福祉施設と地域コミュニティが繋がることによって共生社会実現の萌芽が見られることでしょう。

日本のアール・ブリュットの魅力を発信してきた 「ボードレス・アートミュージアムNO-MA」

■ 滋賀県の先駆的な福祉事業の過程で生まれた「ボードレス・アートミュージアムNO-MA」

ボードレス・アートミュージアムNO-MAは、滋賀県近江八幡市の歴史ある重要伝統的建造物群保存地区にあり、昭和初期の町屋を和室や蔵などを活かして改築し、2004年6月に開館した、社会福祉法人滋賀県社会福祉事業団が運営するミュージアムです。

滋賀県では、戦後まもなく「日本の障害者福祉の父」と呼ばれる糸賀一雄氏や田村二氏、池田太郎氏たちにより創設された近江学園で、粘土を利用した造形活動が始まりました。滋賀県内の福祉施設において長年取り組まれてきた、障害のある人の造形活動が発展して行く過程で、「滋賀県内に障害者の作品を常設できる空間・建物を」というニーズが県全体に高まっていきました。それを受け事業化された「障害者常設ギャラリー構想」では、展示空間の整備についての検討がなされ、物件の候補として挙げられたのが近江八幡市の伝統的建造物群保存地区の永原町で空家になっていた築80年の町屋でした。

ここに、滋賀県社会福祉事業団が企画・運営するギャラリーとして、2004年6月「ボードレス・アートギャラリーNO-MA」が誕生し、2007年春には、滋賀県教育委員会から博物館相当施設の指定を受け「ボードレス・アートミュージアムNO-MA」に改称しました。



ボードレス・アートミュージアムNO-MA 正面玄関

- | | | |
|-------|--|---|
| 1946年 | 障害のある児童等の入所・教育・医療施設「近江学園」の創設 |  |
| 1947年 | 近江学園が登り窯を築くなど、施設内での職業訓練・造形活動の取組を開始 | |
| 1954年 | この年から滋賀県の福祉施設に関わる展覧会が全国で始まる | |
| 1964年 | 八木一夫、一麦寮にて造形活動を開始 | |
| 1974年 | この年から各施設による単独展が徐々に始まる | |
| 1977年 | 一麦寮生展にて岡本太郎、井上有一の評価を受ける | |
| 2004年 | 「ボードレス・アートギャラリーNO-MA」の開館 | |
| 2011年 | 滋賀県「美の滋賀」発信推進室 開設
(現代美術、仏教美術と共に、アール・ブリュットを滋賀で生まれた美の一つとして発信) | |
| 2012年 | 「アール・ブリュットネットワーク」設立 | |

糸賀一雄氏
(写真提供：糸賀一雄記念財団)

2階展示室「スーパー・ワールド・オン・ペーパー」展示風景
(2012年)



1階展示室「踊る細胞」展示風景 (2013年)

■ **アール・ブリュットの魅力が、様々なボーダー（境界）を超える**

この名前にある「ボーダレス」とは、ボーダレス・アートミュージアムNO-MAが「人の持つ普遍的な表現の力」を感じていただく魅力ある場所をめざしていることにちなみます。

このミュージアムの特徴は、障害のある人の表現活動の紹介に核を置くことだけに留まらず、一般のアーティストの作品と共に並列して見せることで「人の持つ普遍的な表現の力」を感じていただくところにあります。このことで、様々なボーダー（境界）を超えていくという実践を試みています。

その実践は「ボーダレス・アートミュージアムNO-MA」館内だけに留まらず、国内の様々な拠点との連携や、更には海外への展開を通じて、行われてきました。

◆ **アール・ブリュット・コレクション美術館（スイス）とボーダレス・アートミュージアムNO-MAとの連携事業（2006年～2008年）**



**アール・ブリュット・コレクション美術館
（スイス ローザンヌ市）**

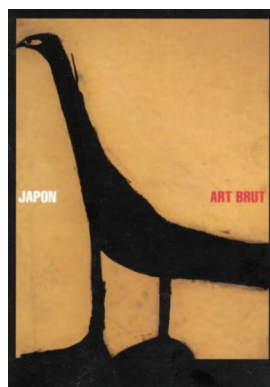


**ボーダレス・アートミュージアムNO-MA
（滋賀県近江八幡市）**

2006年 館長が来日し、国内の作品調査を実施



2008年 日本、スイス両国で企画展を開催



スイス ローザンヌ



**アール・ブリュット/交差する魂
ローザンヌ アール・ブリュット・コレクションと日本のアートサイダーアート
The Museum Rosny-sur-Seine with the Aul Bryllet Collection and the Japanese Sider Art
北海道、滋賀、東京**

- ◆ フランス パリ市立美術館での展覧会 (アール・ブリュット・ジャポネ展) の開催 (2010年~2011年)

会期中の入館者数: 約12万人

アール・ブリュット・ジャポネ展

会期: 2010年3月24日~2011年1月2日
 主催: パリ市立アル・サン・ピエール美術館
 出展者数・出展作品数: 63人(20都道府県)、778点



オープニングパーティー(美術館エントランス)



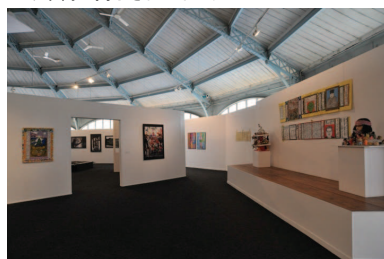
展示の様子



パリ市街に掲示されたポスター

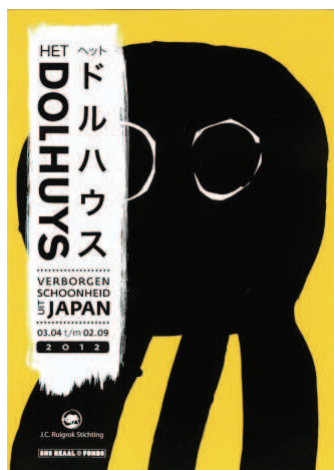


展示の様子



- ◆ ヨーロッパ巡回展の開催

出展者: 46人(13都道府県)



オランダ会場ポスター

アール・ブリュット・フロム・ジャパン展
 会期: 2012年4月20日~9月2日
 主催・会場: ドルハウス美術館(オランダ)



ソウゾウ(SOUZOU)
 -アール・ブリュット・フロム・ジャパン展
 会期: 2013年3月28日~6月30日
 主催会場: ウエルカムコレクション(イギリス)

イギリス会場ポスター



◆ 「第55回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展」 に澤田真一氏の作品が招待

2013年6月1日～11月24日までヴェネチア(アルセナーレ会場)

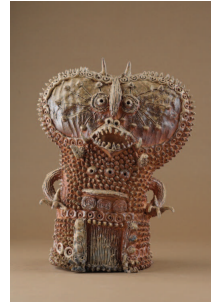


・美術展総合ディレクターであるマッシミリアーノ＝ジオーニ氏から招聘され、滋賀県在住の澤田真一さんの作品が出品される。

・美術展には37か国から150人以上のアーティストが参加。(日本からは澤田氏の他、大竹伸朗氏(東京)、吉行耕平氏(広島)が出品)

澤田真一 プロフィール

昭和57年生まれ。滋賀県在住。陶芸作品の特徴は、作品を覆うトゲのような形態である。度重なる制作の中で、一つのエレメント(トゲ)で彼にしかできない表現力を確立しており、一つのエレメントでこれだけいきいきとしたフォルムを表現できる能力は評価されている。粘土造形によって、彼がひとりの世界の中で、自由に飛翔し、どこにもない、自分だけが生み出した造形美がある。スイスの美術館「アール・ブリュット・コレクション」に12点が収蔵され、また、平成22年～23年にかけて、パリ市で開催された「アール・ブリュット・ジャポネ」展で注目を集めるなど、日本のアール・ブリュットを代表する作家の一人である。



澤田真一氏

◆ パリでの展覧会以降、公立美術館等がアール・ブリュットを展示

パリでの展覧会の国内巡回

2011年度

- ・4月 埼玉県立近代美術館
- ・7月 新潟市美術館



2012年度

- ・4月 高浜市やきもの里かわら美術館
- ・6月 岩手県立美術館



2013年度

- ・4月 高知県立美術館
- ・10月 福岡市美術館
- ・12月 熊本市現代美術館



アール・ブリュットをテーマとした展覧会(一部)

2010年度

- ・3月 福岡アジア美術館
- ・11月 東京都 都政ギャラリー



2011年度

- ・8月 瀬戸内市立美術館
- ・10月 びんてまりの館



2012年度

- ・6月 浜松市美術館
- ・8月 長野県県民文化会館



◆ 日本各地のアール・ブリュットを発信する美術館



2004年 ボードレス・アートミュージアムNO-MA (滋賀県)



2007年 るんびにい美術館(岩手県)



2011年 葺工ミュージアム(高知県)



2012年 軛の津ミュージアム(広島県)



2012年 みずのき美術館(京都府)



2014年開設予定
はじまりの美術館(福島県)

◆ アール・ブリュットネットワークの設立（2013年2月10日）

1 目的

美術、福祉、医療、研究機関、行政等の異なる分野や立場の人たちが連携して、アール・ブリュットを支える環境全体を底上げしていくため、初めての全国組織となる「アール・ブリュットネットワーク」を設立。

2 役員

会長：青柳正規（独立行政法人国立美術館理事長・国立西洋美術館長（当時））
副会長：末安民生（日本精神科看護技術協会 会長）

3 会員数

541件（団体134件・個人407件）※2013年5月17日現在

4 アール・ブリュットネットワーク設立記念フォーラム

アール・ブリュットネットワークの発足を記念し、設立記念フォーラムを開催。



設立記念フォーラム・発足式
320人が参加



記念対談「アール・ブリュットの魅力とネットワーク」

…そして2013年11月から2014年3月にかけて、滋賀県内3拠点で展覧会・研究会を開催。

アール・ブリュットの魅力を、滋賀県から発信してまいります。

本事業の特徴：

多様な主体との共働による、アール・ブリュットの魅力発信

これまでボーダレス・アートミュージアムNO-MAは近江八幡市の地域の美術館として、様々な事業を展開してきました。

本事業では、さらに滋賀県内の商業施設、また全国の福祉関係者が集まるフォーラム、また本拠地である近江八幡の歴史的な地域資源など、多様な主体との共働を通じて、さらに多くの人々にアール・ブリュットに出会っていただく機会創出に取り組みます。

事業1. 県内の各所で展覧会を開催

アール・ブリュット ゾーン パルコ

大津パルコ との共働

2013年11月22日(金)～12月15日(日)

大津パルコの1階センターコートをはじめ、3階・5階・6階特設会場にアール・ブリュット体感ゾーンが出現！ 総計約180点と大津パルコ史上最大級のアート展を、パルコ全館で体感してください。

アール・ブリュット ランドスケープ

アメニティーフォーラム18 との共働

2014年2月7日(金)～9日(日)

第55回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展に出展した澤田真一の作品や日本と台湾のアール・ブリュット作家の作品を紹介し、両国のアール・ブリュットの今を一望する旅にご案内します。

アール・ブリュット ☆アート☆日本

近江八幡市重要伝統的建造物群保存地区一帯 との共働

2014年3月1日(土)～23日(日)

ボーダレス・アートミュージアムNO-MAを拠点に、近江八幡の町屋など文化資源を会場として、多様なアール・ブリュット作品の展示を行います。NO-MAがこれまで実践してきたように、市民の皆様とも連携しながら、地域に開かれた展覧会を実施いたします。また同時に、アール・ブリュットに関する事業を展開する県内外の福祉施設の取り組みの紹介や、海外のアール・ブリュット美術館各館の館長を招聘し、講演会を実施するなど、日本のアール・ブリュットの魅力を近江八幡から国内外へ発信する「日本のアール・ブリュット」の全貌を紹介いたします。

事業2. 公開研究会の開催

3つの展覧会について多面的な視点で検証し、今後のアール・ブリュット発信における効果的な方法や可能性について研究します。アール・ブリュット全体としての分野横断的な展開や、さらなるアール・ブリュットの魅力発信を推進するための糸口を見いだします。

事業3. 情報発信及び記録・調査、アーカイブ

本事業の記録をアーカイブする他、プロセスや成果の考察を、報告書として公開します。

五感ぜんぶが大騒ぎ!! みんなが楽しめるパルコならではのアート展 アール・ブリュット ゾーン パルコ

～大津パルコと共働して実施するアール・ブリュット展～

大津パルコの1階センターコートをはじめ、3階・5階・6階特設会場にアール・ブリュット体感ゾーンが出現! 総計約180点と大津パルコ史上最大級のアート展を、パルコ全館で体感してください。

- ・ 会期 : 2013年11月22日(金)～12月15日(日) (休館日なし) の25日間、10:00～20:30
- ・ 会場 : 大津パルコ (滋賀県大津市打出浜14-30) (1Fセンターコート、3F東側エスカレーター横、5F東側エスカレーター横、6Fレストラン他)
- ・ 観覧料: 無料
- ・ 主催 : アール・ブリュット魅力発信推進事業実行委員会
- ・ 共催 : 大津パルコ
- ・ 協力 : しがトコ

■ 企画紹介

作品のタイトルを考えたり、あなただけの作品づくりに挑戦したりなど、アール・ブリュットの魅力を体感できる5つのゾーンが、パルコ館内のあちこちに出現します。今まで感じたことのない世界を、あなたの五感で体感してみてください。

ZONE1 「探してみよう！」 (1Fセンターコート) 古久保憲満さんの作品の中から、特定の建物や人物を探し出していただきます。

ZONE2 「名付けてみよう！」 (1Fセンターコート) 澤田真一さんの作品からあなたは何をイメージし、どんな名前を付けますか? 期間中、1階センターコートにて澤田さんの作品名の投稿を受け付けます。優秀作品には特製アール・ブリュットカレンダーをプレゼント! あなたの考えた作品タイトルをぜひご投稿ください。

ZONE3 「覗いてみよう！」 (5F東側エスカレーター横) 展示会場に大型虫眼鏡を設置。水谷伸郎さんの作品の微細な造形をより深く楽しんでいただきます。

ZONE4 「読んでみよう！」 (3F東側エスカレーター横) 戸來貴規さんのデザイン化された文字を読んで楽しんでいただきます。

ZONE5 「作ってみよう！」 (6Fレストラン他) 勝部翔太さんの作品から着想を得て、あなたも作品を作ってみませんか? 期間中、6階にてアルタイ人形の創作に挑戦できます。作った人形は6階展示スペースに展示することもできます。あなただけの作品づくりにぜひ挑戦してみてください。



写真提供: 大津パルコ

■ オープニングイベント (報道関係各社様向けイベントとしても開催します)

本展のオープニングイベントとして、アール・ブリュットの魅力、また本展の楽しみ方についてご紹介します。当日は実際に館内各ゾーンをまわり、本展アートディレクターの井上多枝子の案内とともに体感していただきます。

- ・ 出演 : キダユカ (e-radio ラジオパーソナリティ)
井上 多枝子 (本展アートディレクター)
- ・ 開催日時 : 2013年11月22日 (金) 15:00~16:00
- ・ 会場 : 大津パルコ1階センターコート
- ・ 参加費 : 無料 (申込不要)

■ 館内ツアー「パルコ館内ギャラリー・トーク！」

パルコ館内を、本展アートディレクターと一緒に歩きながら、解説とともに楽しんでいただきます。お申し込みの上、お気軽にご参加ください。

- ・ 講師 : 井上 多枝子 (本展アートディレクター)
- ・ 開催日時 : 2013年12月1日 (日)、8日 (日)、14日 (土) いずれも13:30~14:30
- ・ 集合 : 大津パルコ 正面円形広場
- ・ 参加費 : 無料 (要事前申込)
- ・ 申込み : TEL 0748-46-8100 (アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会事務局)

■ 書籍販売

会期中、大津パルコ館内にて、アール・ブリュットの魅力をより知っていただくための書籍を販売します。

- ・ 期間 : 2013年11月22日 (金) ~12月15日 (日)
- ・ 場所 : 大津パルコ5階「紀伊國屋書店」

■ 第1回 公開研究会

「日本のアール・ブリュットに関連する取り組みの流れをふりかえる」

日本のアール・ブリュットに関連するこれまでの取り組みをふりかえり、アール・ブリュットおよびその発信方法についての疑問や課題などを整理します。

※「公開研究会」の趣旨や詳細については、本資料24ページ以降を参照ください。

- ・ 日時 : 2013年12月12日 (木) 15:00~17:00
- ・ 会場 : ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター 205会議室 (滋賀県大津市におの浜一丁目1-20)

■ 出展作家紹介

戸來 貴規	鮎 万里絵	澤田 真一	喜舎場 盛也
水谷 伸郎	古久保 憲満	吉川 秀昭	勝部 翔太
山際 正己	舛次 崇		

■ 本展アートディレクター紹介：井上 多枝子

京都精華大学芸術学部を卒業後、滋賀県信楽町にある信楽青年寮（知的障害者施設）にて、7年間アトリエを担当。各地で彼らの展覧会を企画。その後、滋賀県社会福祉事業団へ入社しボーダレス・アートミュージアムNO-M Aを担当。2004年、NO-M Aにて「極上スタイル」展を二人で企画。2010年、パリにて開催された「ART BRUT JAPONAIS」展の日本側の事務局を担当。現在は、展覧会企画やグッズデザインを担当しながら、施設でのアトリエ活動等を行っている。

アウトサイダー・アート、アール・ブリュットのものに留まらず、海外も含め、人が生活している中から生まれ出る美への意識、またその造形を研究している。

アール・ブリュット ランドスケープ

—創造のカタチを一望する—

～アメニティーフォーラム18 同時開催企画～

私たち人間には個々に宿る目に見えない無数の可能性や力が隠されています。アール・ブリュットの作家たちはつくることの原点にたち、人間の大きい創造の可能性をカタチにします。近年、日本のアール・ブリュットは国内外で多くの展覧会が開催されるなど高い関心を集めています。

今展では、第55回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展に出展した澤田真一の作品を展示するほか、一昨年から調査を続けてきた台湾の作品を展示します。日本と台湾のアール・ブリュット作家の作品を広く紹介し、両国のアール・ブリュットの今を一望する旅にご案内します。



2012年度に開催された「アメニティーフォーラム17」同時開催企画「ART BRUT ART BRUT ～ポードレス・アートミュージアムNO-MAの作品調査から～」の様子

- ・ 会期 : 2014年2月7日(金)～9日(日)の3日間、9:00～21:00 (9日(日)は15:00まで)
- ・ 会場 : 大津プリンスホテル コンベンションホール淡海 9, 10 (滋賀県大津市におの浜四丁目7-7)
- ・ 作家数 : 28作家
- ・ 作品数 : 約340点 (当日まで前後する可能性があります)
- ・ 観覧料 : 500円 ※小学生以下、障害のある方と付添者1名 無料
アメニティーフォーラム18参加者は無料
- ・ 主催 : アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会
- ・ 共催 : 第18回アメニティーフォーラム実行委員会
NPO法人全国地域生活支援ネットワーク
- ・ 特別協力: 社会福祉法人愛成会
台湾身心障礙藝術發展協會-光之藝廊 Arts Development of Taiwan with Disabilities- Luminance Art Space
台北市立大学・視覚藝術研究所 蘇 振明 教授

■ 出展作家

梅木鉄平	江中裕子	緒方彩乃	勝部翔太
楠真一	古久保憲満	佐藤朱美	佐野奈津美
澤田真一	舛次崇	鮎万里絵	戸舎清志
名倉要造	西田裕一	西之原清香	藤野友衣
堀井正明	松本寛庸	三上正泰	美濃部責夫
武蔵諒	椋本一輝	王彦成 (Wang Yen Chan)	黄啟禎 (Huang Ci Jhen)
王耀樟 (Wang Yao Chang)	鄭鈴 (Cheng Lin)	陳立夫 (Chen Li Fu)	林伊儷 (Lin Yi li)

他 (2014年1月29日時点で28名が決定)

■ 関連イベント

本展はアメニティーフォーラム18と同時開催の展覧会です。このアメニティーフォーラム18初日には、アール・ブリュットに関する様々な講演などを開催します。こちらもおわせてお越しください。

- ・ 開催日 : 2014年2月7日 (金)
- ・ 場所 : 大津プリンスホテル コンベンションホール淡海 8
- ・ 入場料 : (展覧会チケットでご入場いただけます)
500円 ※小学生以下、障害のある方と付添者1名 無料、アメニティーフォーラム18参加者は無料
- ・ プログラム : 15:15~15:40 報告
ヨーロッパ巡回展 Art Brut from Japan -日本のアール・ブリュットの海外での動向-
小林 瑞恵 (社会福祉法人愛成会 アートディレクター)
- 15:45~16:45 記念講演
Art Brut Japan 日本のアール・ブリュットがイギリスに与えた影響
Kenneth Arnold [ケネス・アーノルド] (ウェルカム・コレクション館長/イギリス ロンドン)
- 16:55~17:20 告知
NO-MA境界での「アール・ブリュット☆アート☆日本」
藁戸 さゆみ (ボーダレス・アートミュージアムNO-MA 学芸員)
- 17:25~17:50 報告
造形活動に必要な支援とは?
齋藤 誠一 (滋賀県社会福祉事業団 企画事業部 アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター 主任アドバイザー)
- 18:00~19:00 講演
アール・ブリュット 元年
保坂 健二郎 (東京国立近代美術館主任研究員)

■ 第2回 公開研究会

「発信すべきアール・ブリュットの魅力と今後の発信方法に関するアイデア」

第2回研究会では「発信すべきアール・ブリュットの魅力」について意見交換を行います。そして、多様な主体によるアール・ブリュットに関連する3つの取り組み事例について関係者から発表していただき、その独自性や課題について多様な分野の研究員により考察します。それらを踏まえ、さらに効果的な発信手法についてアイデアを出し合い、議論します。

※「公開研究会」の趣旨や詳細については、本資料24ページ以降を参照ください。

- ・ 開催日時 : 2014年2月9日(日) 10:00~13:00
- ・ 会場 : 天津プリンスホテル コンベンションホール淡海8 (滋賀県大津市におの浜四丁目7-7)
- ・ 入場料 : 無料
- ・ 実践事例 : 「精神科看護学術集会でのアール・ブリュット作品展」
特例社団法人 日本精神科看護技術協会 専務理事 仲野栄

「もっと伝えたい! 商店街からの発信」

中野ブロードウェイ商店街振興組合 理事長 青木武

「行政が取り組むアール・ブリュット魅力発信」

滋賀県総合政策部管理監「美の滋賀」発信推進室長 宮川正和

■ アメニティーフォーラムについて

障害者の地域生活を推進していくための全国的なネットワークを作ることを目的に、毎年2月に滋賀県大津市で行われているフォーラムです。全国から1500人を超える人たちが参加し、今年で18回目を迎えます(主催:第18回アメニティーフォーラム実行委員会、NPO法人全国地域生活支援ネットワーク)。

アメニティーフォーラムについての詳細はこちらのウェブサイトを参照ください。

<http://blog.canpan.info/shien-net/>

アール・ブリュット☆アート☆日本

no-r-malization; The World of Art Brut in Japan

～市民参加・地域共働による

NO-MA 境界で展開するアール・ブリュット展～

心の奥底から湧き上がる衝動そのままに表現したアール・ブリュット作品は、揺るぎのない「私の中にしかない私だけの世界」を見る者に気付かせてくれます。日常生活に密接したかたちで生まれるアール・ブリュットは、今、多くの人々の心を捉えて離しません。

ボーダレス・アートミュージアムNO-MAは、開館から10年間、近江八幡の町屋で、地域の人々の理解と協力を得ながら、作者となる知的障害や精神障害の

ある人、無名の老人などの表現を、現代アーティストの作品と共に並列して見せることで「人の持つ普遍的な表現の力」を感じられる展覧会を開催して参りました。このことは、「障害者と健常者」をはじめ、様々なボーダー（境界）を超えていくという実践にも繋がっています。

また2006年からは、アール・ブリュット・コレクション（スイス・ローザンヌ市）との連携プロジェクトをはじめ、世界に向けて日本のアール・ブリュット作品を紹介しました。この連携プロジェクトを通して、日本のアール・ブリュットは高い評価を受け、日本の公立美術館などでもアール・ブリュット展が多数開催されるまでとなりました。

アール・ブリュットが持つ魅力とその力は、福祉、医療、美術といった分野の領域を超えて、今、大きな注目を集めています。

この度、ボーダレス・アートミュージアムNO-MAを拠点に、近江八幡の町屋など地域の文化資源を会場として、多様なアール・ブリュット作品の展示を行います。NO-MAがこれまで実践してきたように、市民の皆様とも連携しながら、地域に開かれた展覧会を実施いたします。また同時に、アール・ブリュットに関する事業を展開する県内外



写真提供：近江八幡観光物産協会

の福祉施設の取り組みの紹介や、海外のアール・ブリュット美術館各館の館長を招聘し、講演会を実施するなど、日本のアール・ブリュットの魅力を実践する「日本のアール・ブリュット」の全貌を紹介します。

- ・ 会期 : 2014年3月1日(土)~3月23日(日) (月曜日休館) の20日間、10:00~17:00
- ・ 会場 : 近江八幡市重要伝統的建造物群保存地区の下記8施設
 - ・ ボーダレス・アートミュージアムNO-MA (滋賀県近江八幡市永原町上16 [旧野間邸])
 - ・ 奥村邸 (滋賀県近江八幡市永原町上8)
 - ・ まちや倶楽部 (滋賀県近江八幡市仲屋町中21)
 - ・ 旧吉田邸 (滋賀県近江八幡市多賀町758)
 - ・ カネ吉別邸 (滋賀県近江八幡市為心町元)
 - ・ かわらミュージアム (滋賀県近江八幡市多賀町738-2)
 - ・ 映像コーナー: 尾賀商店 (滋賀県近江八幡市永原町中12) ※ 無料
 - ・ ライブラリ・インフォメーション: 旧八幡郵便局 (滋賀県近江八幡市仲屋町中8) ※ 無料
- ・ 出展者 : 35作家
- ・ 作品数 : 約500点
- ・ アーティスト・アドバイザー: 保坂 健二郎 (東京国立近代美術館 主任研究員)
- ・ 入館料 : 本展覧会では、8会場すべて観覧いただける全館共通パスポートをご用意しました。

全館共通パスポート 前売券 700円

発売期間 1月15日(水)~2月28日(金)

取り扱い場所 ・ ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

・ チケットぴあ電話予約 0570-02-9999 Pコード766-031

・ チケットぴあインターネット <http://pia.jp/t/> (※PC・携帯電話共通)

・ 店頭販売はチケットぴあ店舗/セブン-イレブン/サークルKサンクス

全館共通パスポート 当日券 1,000円

発売期間 3月1日(土)~3月23日(日)

取り扱い場所 ・ ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

・ チケットぴあ

・ 旧八幡郵便局

・ 一般社団法人 近江八幡観光物産協会 (白雲館)

・ かわらミュージアム

一館チケット (当日のみ販売) 300円

発売期間 3月1日(土)~3月23日(日)

取り扱い場所 ・ ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

・ 旧八幡郵便局

・ 一般社団法人 近江八幡観光物産協会 (白雲館)

・ かわらミュージアム

※かわらミュージアムを一館のみでご覧になる場合は、「一館チケット」+「かわらミュージアム常設展チケット (300円)」をご購入ください。

- ・ 主催 : アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会
- ・ 後援 : 滋賀県教育委員会、近江八幡市教育委員会
- ・ 協力 : 近江八幡まちや倶楽部、尾賀商店、株式会社まっせ、株式会社カネ吉ヤマモトフーズ、株式会社ケレスたなか、滋賀県立大学人間文化学部生活デザイン学科佐々木一泰研究室、酒遊館、同志社大学政策学部大学院総合政策科学研究科井口研究室、NPO法人ヴォーリス建築保存再生運動一粒の会、まちづくり近江八幡 (かわらミュージアム指定管理者)、Collection de l'Art Brut、Halle Saint Pierre、Raw Vision、NPO法人しみんふくし滋賀、八幡酒蔵工房、NPO法人工房あかね、滋賀県立精神医療センター、(社福)大木会 もみじ・あざみ、(社福)かんな会 かなの里、(社福)恵庭光風会 多機能型事業所 光と風の里 恵み野西、(社福)湖北会 湖北まこも、(社福)しがらき会 信楽青年寮、(社福)にじの会 「にじアート」、(社福)みぬま福祉会 川口太陽の家 工房集、すずかけ絵画クラブ、(社福)やまなみ会 やまなみ工房、(社福)光林会るんびにい美術館、(社福)若竹福祉会、(社福)つむぎ多機能型事務所 くわの実 (順不同)
- ・ 特別協力 : 株式会社HIBINOSPECIAL、台北市立大学・視覚藝術研究所 蘇 振明教授、台湾身心障礙藝術發展協會-光之藝廊 Arts Development of Taiwan with Disabilities- Luminance Art Space

■ 特別展示では日比野克彦さん、澤田真一さん、林瑋萱さんのコラボレーションを実現

本展の特別展示では、アーティストの日比野克彦さん、滋賀県出身のアール・ブリュット作家である澤田真一さん、台湾のアール・ブリュット作家である林瑋萱さんによる、「ボーダレス」をテーマにしたコラボレーション展示を行います。

日比野克彦さんは、各地で一般参加者とその地域の特性を生かしたアートプロジェクトを多く行っています。2012年に設立された「アール・ブリュット ネットワーク」では発起人の一人となり、アール・ブリュットの魅力発信にも尽力されています。今展覧会では、ボーダレス・アートミュージアムNO-MAの展示構成も行っていただきます。

滋賀県出身のアール・ブリュット作家である澤田真一さんは、昨年「美術の五輪」と評される「第55回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展」に出展され、いま世界中の注目を集めているアーティストです。



日比野克彦さん
© Mitsuru Goto

そして林瑋萱さんは、滋賀県アール・ブリュット推進事業（全国・アジア地域作品調査研究）をきっかけにつながりが生まれた台湾のアール・ブリュット作家です。2011年度から滋賀県とボーダレス・アートミュージアムNO-MAでは、近隣のアジア地域のなかから特に関心の高い「台湾」での取り組みについて作品調査を行い、アール・ブリュットを支える環境全体の底上げを図るとともに、こうした動きをアジア地域にも広げる活動を展開しており、そのなかで生まれたコラボレーションになります。

◆ 日比野 克彦さん プロフィール

アーティスト／東京藝術大学美術学部教授

- 1958年 岐阜県生まれ
- 1984年 東京藝術大学大学院卒業
- 1995年 ヴェネチア・ビエンナーレ 出展
- 2003年～ 越後妻有アートトリエンナーレ 大地の芸術祭「明後日新聞社文化事業部」
- 2007年 金沢21世紀美術館「ホーム→アンド←アウエー」方式
- 2008年 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA企画展
「飛行する記憶～記憶は創造を呼び起こす～」出展
- 2010年～ 瀬戸内国際芸術祭「海底探査船美術館プロジェクト 一昨日丸」
- 2012年 ぎふ清流国体・ぎふ清流大会 総合プロデューサー
- 2013年～ 六本木アートナイト アーティスティックディレクター
- 2013年 「Hibino on side off side 日比野克彦」展(川崎市岡本太郎美術館)

【主な役職】

- 2013年 平成25年度 文化庁・厚労省共催
障害者の芸術活動への支援を推進するための懇談会委員
- その他 日本サッカー協会理事
福島芸術計画×ASTT2012フラッグシップ・アーティスト

- ◆ **展示会場3：まちや倶楽部** (滋賀県近江八幡市仲屋町中21)
…仲屋町にある旧造りの酒屋。

【巨大作品登場】 古久保憲満の10mを越す大作を展示します。



アーティスト： 大江正章
古久保憲満
富塚純光

西澤彰
藤野友衣
松本寛庸

- ◆ **展示会場4：旧吉田邸** (滋賀県近江八幡市多賀町758)
…多賀町に残る築約100年の町屋。

【こだわりの愛】 100体以上の人形がひしめく町屋空間が出現。かわいくて、ぶきみな、でもなんだか愛しい… 究極の愛の世界へご案内します。



アーティスト： 小原久美子
河野咲子
中田勝信

宮間英次郎
横山篤志

- ◆ **展示会場5：カネ吉別邸** (滋賀県近江八幡市為心町元)
…築約100年、為心町通りにある元材木商の建物。

【日常／時の蓄積】 日常生活の中から生まれるアール・ブリュット。町屋の日常の空間で、アール・ブリュットの世界をお楽しみください。



アーティスト： 今村花子
金崎将司
鎌江一美
武友義樹

秦野良夫
吉田格也
渡辺孝雄

- ◆ **展示会場6：かわらミュージアム** (滋賀県近江八幡市多賀町738-2)
…築約100年、為心町通りにある元材木商の建物。

【台湾のアール・ブリュット】 日常生活の中から生まれるアール・ブリュット。町屋の日常の空間で、アール・ブリュットの世界をお楽しみください。



アーティスト： 陳立夫 (Chen Li Fu)
鄭鈴 (Cheng Lin)
黄啟禎 (Huang Ci Chen)

林伊儷 (Lin Yi Li)
王彥成 (Wang Yen Chan)
王耀樟 (Wang Yao Chang)

- ◆ **映像コーナー：尾賀商店** (滋賀県近江八幡市永原町中12)
…アール・ブリュット関連の映像をご覧ください (入館無料)。



- ◆ **ライブラリ・インフォメーション：旧八幡郵便局** (滋賀県近江八幡市仲屋町中8)
…アール・ブリュット関連書籍が読めます (入館無料)。



■ 関連イベント

本展覧会の関連イベントでは、日本や海外で活動されている方々をお招きし、美術館やまちづくり、海外など様々な視点から、アール・ブリュットの「いま」と「これから」を語っていただきます。

海外からのゲストは、2006年からポダレス・アートミュージアムNO-MAとの連携プロジェクトに取り組み、2008年にコラボレーション展「JAPON」展が開催された、アール・ブリュット・コレクション（スイス・ローザンヌ市）のサラ・ロンバルディ館長や、2010年「アール・ブリュット・ジャポネ」展を開催したパリ市立アル・サン・ピエール美術館のマルティヌ・リュザルディ館長などが来日し、記念講演を行います。

アール・ブリュットの魅力が、作品だけでなくこれらのイベントからも伝わるものになると考えております。

◆ オープニングレセプション

講演Ⅰ 「NO-MAとの連携点をとおして～日本のアール・ブリュットの魅力を語る～」
サラ・ロンバルディ（アール・ブリュットコレクション館長）

講演Ⅱ 「日本のアール・ブリュット」
はたよしこ（NO-MAアート・ディレクター）

ゲスト：日比野克彦（アーティスト）

- ・ 開催日 : 2014年3月1日（土）13:00～15:30
- ・ 会場 : 酒游館（滋賀県近江八幡市仲屋町中21）
- ・ 定員 : 100名
- ・ 入場料 : 無料（要予約）

◆ 講演

講演Ⅰ 「ヨーロッパのアール・ブリュット」
ローラン・ダンシャン（学芸員／Raw Vision特別顧問）

講演Ⅱ 「新聞記者が見た＜NO-MA＞以後のアールブリュット」
岸桂子（毎日新聞学芸部記者）

- ・ 開催日 : 2014年3月8日（土）13:00～15:00
- ・ 会場 : 酒游館（滋賀県近江八幡市仲屋町中21）
- ・ 定員 : 100名
- ・ 入場料 : 無料（要予約）

◆ 講演 「新しい美術館のかたち～アール・ブリュット作品を美術館があつかうこと～」

講演Ⅰ マルティヌ・リュザルディ（パリ市立アル・サン・ピエール美術館館長）

講演Ⅱ 保坂健二郎（東京国立近代美術館 主任研究員）

ゲスト：黄榮村（台湾前文部大臣）、陳學聖（国会議員）、陳翠華（社団法人台湾心身障害芸術発展協会理事長）

ゲスト：嘉田由紀子（滋賀県知事）

- ・ 開催日 : 2014年3月15日（土）13:30～16:00
- ・ 会場 : 酒游館（滋賀県近江八幡市仲屋町中21）
- ・ 定員 : 100名
- ・ 入場料 : 無料（要予約）

※ 以上関連イベントのご予約は、ポダレス・アートミュージアムNO-MAにて承ります。

電話・FAX：0748-36-5018 ウェブサイト：<http://www.no-ma.jp/>

◆ 第3回公開研究会

「今後の発信方法アイデアについて議論

(具現化に向けての方策／さらに効果的に発信していくために)」

先の2回の研究会の内容を踏まえ、アール・ブリュットの魅力を発信するための次なる取り組みについてのアイデアをとりまとめます。

※「公開研究会」の趣旨や詳細については、本資料24ページ以降を参照ください。

- ・ 開催日 : 2014年3月12日(水) 9:00~12:00
- ・ 会場 : アンドリュース記念館 (滋賀県近江八幡市為心町中31)

■ 近江八幡市重要伝統的建造物群保存地区について

近江商人発祥地の一つとして知られる近江八幡。近江商人の活躍の地は、日本全国各地におよびましたが、主には東京や北海道で、中には遠く海外で活躍した商人もいました。

彼らは商売の信用を第一とし、物の不足に便乗した値上げなどは厳しく戒め、人々から愛され必要とされる商いを心がけました。また、橋の架け替えや寺社仏閣への寄進も怠ることなく、地域貢献を忘れることはありませんでした。

そんな近江商人たちが、かつて住んだ地域(新町・永原町)は、格子戸や見越しの松、うだつなどが並び「重要伝統的建造物群保存地区」として、町並み保存がなされ、近江八幡の代表的な観光地域となっています。

近年では、人口の減少や高齢化の進行などにより、空き町屋が増えつつあることから歴史ある美しい町並みを残していくため、市をあげて町屋再生も行っており、空き町屋をリノベーションしたおしゃれなカフェやサロン等が増えています。



写真提供：近江八幡観光物産協会

公開研究会

3つの展覧会について多面的な視点で検証し、今後のアール・ブリュット発信における効果的な方法や可能性について研究します。アール・ブリュット全体としての分野横断的な展開や、さらなるアール・ブリュットの魅力発信を推進するための糸口を見いだします。

■ 研究の背景と目的

日本において近年、アール・ブリュットはにわかに注目を集めており、各方面から一目を置かれています。美術、福祉、医療、教育、観光、まちづくりなど、様々な分野と親和性の高いアール・ブリュットですが、市民レベルではさらに認知度を高めていく必要があり、その評価についても各分野において統一的な見解が定まっていないのが現状です。その魅力や秘めた力は、いずれの分野においてもまだまだ開花の余地を残している状況と言えます。

そこで「多様な主体との共働による アール・ブリュット魅力発信事業」における3つの展覧会について多面的な視点で検証し、今後のアール・ブリュット発信における効果的な方法や可能性について研究します。

■ 研究会の流れ

研究会は3つの展覧会にあわせて開催します。それぞれ研究会実施時に開催されている展覧会を視察、分野の異なる研究員の共通体験・話題とし、研究会冒頭ではそれぞれの視点より展覧会についてレビューします。

その後、アール・ブリュット作品の応用的な活用アイデアや作品制作プロセス提示の可能性などについて検討し、様々な分野・領域での展開の方策を見いだします。

この3回の研究会を通じて、アール・ブリュットの魅力を発信するための次なる取り組みの糸口を示唆するような報告書を作成、研究会終了後に発表します。

■ 研究会の公開について

研究会は、どなたでも傍聴していただくことができます。講演会のように来場者に語りかけるという場ではありませんが、アール・ブリュットの魅力やその発信のあり方について理解を深めていただく貴重な機会となります。取材も可能ですので、お気軽にお越しください。

※ 傍聴は無料、事前申込不要です（なお取材の場合は事前にお問合せください）。

各研究会につき、会場は15分前に開場いたします。

■ 各研究会の日程と予定

◆ 第1回 「日本のアール・ブリュットに関連する取り組みの流れをふりかえる」

第1回研究会では日本のアール・ブリュットに関連するこれまでの取り組みをふりかえり、アール・ブリュットおよびその発信方法についての疑問や課題などを整理します。

- ・ 開催日時：2013年12月12日（木） 15：00～17：00
- ・ 会場：ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター 205会議室（滋賀県大津市におの浜一丁目1-20）

◆ 第2回 「発信すべきアール・ブリュットの魅力と今後の発信方法に関するアイデア」

第2回研究会では「発信すべきアール・ブリュットの魅力」について意見交換を行います。そして、多様な主体によるアール・ブリュットに関連する3つの取り組み事例について関係者から発表していただき、その独自性や課題について多様な分野の研究者により考察します。それらを踏まえ、さらに効果的な発信手法についてアイデアを出し合い、議論します。

- ・ 開催日時：2014年2月9日（日） 10：00～13：00
- ・ 会場：大津プリンスホテル コンベンションホール淡海 10（滋賀県大津市におの浜四丁目7-7）
- ・ 実践事例：「精神科看護学術集会でのアール・ブリュット作品展」
 特別社団法人 日本精神科看護技術協会 専務理事 仲野栄
 「もっと伝えたい！商店街からの発信」
 中野プロドウェイ商店街振興組合 理事長 青木武
 「行政が取り組むアール・ブリュット魅力発信」
 滋賀県総合政策部管理監「美の滋賀」発信推進室長 宮川正和

◆ 第3回 「今後の発信方法アイデアについて議論

（具現化に向けての方策／さらに効果的に発信していくために）」

第3回は、これまでの展覧会レビューや様々な主体による発信事例、また実際の制作現場の見学を踏まえて、より魅力的で効果的な発信手法を見いだすことを目的として議論を展開します。具体的には、第2回研究会でそれぞれの研究者から出た発信手法に関するアイデアについて、共働相手として想定できる主体や企画の内容についてさらにアイデアを出し合い、いくつかの企画案をまとめたいと考えています。作品展や公開制作、Webや情報誌による情報発信など、これまでの取り組みにとらわれない新たなアール・ブリュットの魅力発信企画にご期待ください。

- ・ 開催日時：2014年3月12日（水） 9：00～12：00
- ・ 会場：アンドリュース記念館（滋賀県近江八幡市為心町中31）

■ 研究員紹介（敬称略、五十音順）

アサダ ワタル

日常編集家

1979年大阪府生まれ。音楽、文章、プロジェクト。2002年から音楽活動を始め、2003年以降は活動を”音”から”場／事”に拡張。様々なスペースの運営、地域コミュニティに関わる音楽ワークショップなどに従事。2013年、ドラムを担当するSjQ++にてアルス

エレクトロニカ準グランプリ受賞。著書に『住み開き 家から始めるコミュニティ』（筑摩書房）、『アール・ブリュット アート 日本』（平凡社、編著）等。神戸女学院非常勤講師。「美の滋賀」アドバイザー。

近藤 隆二郎

滋賀県立大学 教授

1965年東京都生まれ。大阪大学大学院工学研究科（環境工学専攻）、和歌山大学システム工学部を経て現職。専攻は環境社会システム。人間・社会・環境の結びつきを、文化やイメージを鍵としてシステム化し、市民参画デザインとして再構築することを目指して研究実践している。人間社会と環境との絡み合いに関心があり、写し巡礼地・インド都市巡礼・熊野古道・蛇伝説・エコビレッジなどについて調査研究と実践を進めてきたが、現在は五感と身体から感じるまちづくりや身体計画論を構想する。

末安 民生

日本精神科看護技術協会 会長

1954年鹿児島県生まれ。都立松沢病院に13年間勤務後、衆議院議員政策秘書をつとめる。看護師として地域のメンタルヘルスに関わり、慶應義塾大学准教授を経て、現在は天理医療大学教授。渋谷区で、障がい者就労支援活動を行うNPO法人の理事長も担う。これまでの活動の過程で精神障害者の「表現」と出会い、アール・ブリュットに関心を寄せる。2013年に設立されたアール・ブリュットの振興を目的とした全国的なネットワークの副会長に就任し、その普及振興に取り組む。

竹内 厚

Re:S 編集者

1975年、兵庫県生まれ、大阪育ち。京阪神一円のカルチャー情報誌『Lマガジン』休刊にともなって、2010年から「Re:Standard=あたらしい“ふつう”を提案する」をコンセプトに、さまざまな活動をつづける編集事務所『Re:S』へ。地元のカルチャーまわりを中心に編集&執筆。聖地探索ユニットfernich、京都造形芸術大学ULTRA FACTORYでのBYEDITディレクターなどの活動も行う。近年はアール・ブリュットにも関心を寄せ、関連原稿執筆も。

鳥井 新平

近江兄弟社小学校 教諭

1957年北海道生まれ、大阪育ち。アートと絵本をこよなく愛す小学校教員。近江ハイハイ絵本部屋、太子ホール・クリスマスライブ主宰。地域社会の中で生活の中から、表現活動を通して人を開けつないでいくことをライフワークとして考える。ボーダレスアートミュージアムNO-MAでは地域交流プログラムのアドバイザーの経験あり。また、バンド「ありらん食堂」のリーダーとして、メッセージ性のある歌の伴奏をつとめる。

早川 弘志

社会福祉法人やまなみ会 やまなみ工房 主任支援員

1971年三重県生まれ。2000年よりやまなみ工房に支援員として勤務。2008年からアトリエころぼっくる班の担当となり、絵画や陶芸を中心とした制作活動の支援、各種展示会の企画や公募展の出展、グッズ制作等、マネージメントを行う。様々な“表現”が人を繋ぐきっかけとなり人生がより豊かなものになるよう、誰もが共生できる社会づくりを目指し活動する。

山口 真有香

滋賀県立近代美術館 学芸員

1977年京都府生まれ。関西学院大学大学院文学研究科（美学専攻）博士後期課程単位取得退学。これまでに企画した展示は「日本絵画 組み合わせの美」（2012年・滋賀県立近代美術館）「おでかけミュージアム・キャラバン 滋賀のアール・ブリュット」（2013年・県内3会場を巡回）など。専門分野は日本美術史。

情報発信及び記録・調査、アーカイブ

本事業のプロセスを多様なメディアで情報発信し、あわせて全事業の記録をアーカイブします。また、プロセスや成果の考察を、報告書として公開します。

■ 広報活動による情報発信

報道各社様向けには、アール・ブリュットについての理解を深めていただける情報を提供する「ニュースレター」を毎月(2013年12月～3月の4回)ご提供します。さらにイベントに応じてプレス内覧会なども開催いたします。詳細はイベントごとに告知いたします。

また一般向けには、協賛事業である「糸賀一雄生誕100年記念事業」を通じての広報の他、KBS京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」番組内CMによるイベント告知などを行います。

■ インターネットによる情報提供・アーカイブ

インターネットでは、「ポータレス・アートミュージアムNO-MA」サイト上にイベント情報やレポートを随時掲載するほか、同 Facebook ページについて随時最新情報などをお知らせします。

NO-MA 公式サイト：<http://www.no-ma.jp/>

Facebook ページ：<http://www.facebook.com/museumnoma>

その他関連書籍・イベントなどの紹介

ボーダレス・アートミュージアムNO-MAでは、アール・ブリュットに関する様々な書籍を発行しています。またNO-MAに限らず、本事業に関連するイベントや情報も発信されています。展覧会や研究会などの参考に、是非ご覧ください。

■ 書籍『アール・ブリュット アート 日本』

美術・福祉・人類学などの多様な視点から、私たちの社会を鋭く照射する「アール・ブリュット」の全容に迫る。初の体系的論集!!

【監修】保坂健二郎（東京国立近代美術館主任研究員）

【企画】ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

【編者】アサダワタル（日常編集家）

【発行】平凡社



■ DVD『日本のアール・ブリュット パリに上陸するの巻!』

2010年3月24日～2011年1月2日まで、フランスのパリ市立アル・サン・ピエール美術館において開催され、大きな評判をよんだ「ART BRUT JAPONAIS（アール・ブリュット・ジャポネ）」展の様子や作家の素顔を撮った、ドキュメンタリー映像。

【監督】代島治彦

【上映時間】72分

【企画・製作】滋賀県社会福祉事業団



◆ 取材用に書籍・DVDの貸し出しを行います

アール・ブリュットについての理解を深めていただくことを目的に、報道各社様向けに上記書籍・DVDの貸し出しを行います。貸し出し方法など詳しくは、アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会事務局まで、お気軽にお問合せください。

【受付期間】2013年11月22日（金）から2014年3月23日（日）まで

【レンタル期間】7泊8日（原則何度でも貸し出し可能）